

平成30年4月12日  
受信環境クリーン中央協議会

## 電波障害防止に関する功労者の表彰について

— 個人4件、団体2件に対し —

受信環境クリーン中央協議会（会長：寺崎 明 一般財団法人情報通信振興会理事長）は、電波障害防止に関し、顕著な功労のあった次の個人及び団体に対して表彰を行うこととしました。なお、表彰式は、来る4月18日（水）午後5時15分からKKRホテル東京「孔雀の間」で行う予定です。

【個人】

（順不同、敬称略）

氏名	職業	実績の概要
しろた 代田 よしたか 佳孝	日本電設工業株式会社 情報通信本部ネットワーク工業部マルチメディアグループ 工事課主事	平成15年から平成26年までの約11年間、テレビ電波受信障害の専門家として積極的に貢献。 平成20年10月以降、JR東日本から業務の委託を受けた東北・上越新幹線沿線の地上デジタル放送の電波受信状況の基本調査の結果をもとに、首都圏エリアの現場指揮者として地上デジタル放送受信障害対策を推進。地上デジタル放送への移行に際して、粘り強く説明を行ない、全ての補償施設加入者の対策を期限に遅れることなく完了させた。現在も受信障害の相談に対応。
こんどう 近藤 としゆき 俊幸	前 一般社団法人 日本アマチュア無線連盟技術担当部長	昭和50年代後半からアマチュア無線局の急激な増加と家庭用電化製品の多様化と著しい普及により、放送受信障害等が増加し原因も複雑化する中、昭和58年から平成29年までの間、日本アマチュア無線連盟において電波障害対策の指導、障害原因特定や対応策の検討のほか、近年は地上デジタル放送移行時の技術的な受信障害防止対策の啓蒙活動に参画。 また、平成19年から受信環境クリーン中央協議会の幹事、企画・広報分科会委員及び功労表彰審査委員会委員として協議会の活動に参画し、受信障害マニュアルの作成等にも寄与。
うめだ 椋田 かずひこ 和彦	株式会社東京エネシス 営業本部部長	昭和55年に現 株式会社東京エネシスに入社し、平成21年情報ネットワーク部部長に就任。以来、建造物によるテレビ受信障害対策工事や東京電力送電線によるテレビ受信障害対策工事などのテレビ受信障害対策工事に携わる。 また、平成25年から日本CATV技術協会においても要職を歴任し、平成28年には本部理事に就任。建造物によるテレビ受信障害対策、デジタル混信対策、東京スカイツリー移行対策などにおいて関東支部会員を取りまとめ、積極的に対応するなどテレビ受信障害の普及・向上に貢献。

<p>しまだ ふみお 島田 文雄</p>	<p>元 株式会社NHK アイテック関東甲信 越事業部長</p>	<p>昭和46年、全日本テレビサービス株式会社（現 株式会社NHKアイテック）に入社以来、新宿新都心、さいたま新都心等の大規模建造物による電波障害の対策や地形難視地域での共同受信施設の建設による難視改善等、受信環境の維持・改善に大きく寄与。 また、デジタル放送移行時には、共同受信施設のデジタル化業務に責任者として関与し、数多くの施設の迅速かつ的確な対策を推進。</p>
--------------------------	--	---

【団 体】

氏 名	実績の概要
<p>独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局、 青森工事事務所</p>	<p>青森県青森市から北海道北斗市に至る北海道新幹線建設に際し、沿線住民の受信環境確保のため、電波障害防止の社会的重要性を深く認識し、建設後の構造物及び列車走行によるテレビ受信障害を事前に調査・予測して、その対策を実施。これにより、沿線住民の十分な理解と協力を得て、新幹線開業後のテレビ受信障害の積極的な解消に努め、受信障害対策の推進に大きく貢献した。</p>
<p>米沢市立第三中学校</p>	<p>受信環境クリーン図案コンクールにおいて、美術担当教諭による指導の下、長年にわたり優れた作品を応募し、受信環境の維持・改善に関する周知啓発に大きく貢献した。</p>

<参 考>

受信環境クリーン中央協議会では、本件表彰を昭和34年（1959）から毎年実施しており、今回で60回目となります。

連絡先：受信環境クリーン中央協議会 事務局  
（一般財団法人情報通信振興会内）  
（電話03-3940-3981）